

校報 まきがね

恵那西中学校だより 第7号

令和8年9月25日（金）発行



「集団に磨きをかける」

校長 工藤 博也

Ⅲ期の目標は、「自分の力を出し切ることに挑戦し、『なりたい自分』に向けて主体的に行動する」ことです。その集大成となる体育大会が、いよいよ佳境を迎えています。「自分の力を出し切る」とは、本気になって挑戦することです。そして、本気になれる集団の中では、一人一人の頑張りが仲間の意欲を高め、その姿がさらに周囲の挑戦を後押しします。このような好循環によって集団全体が成長していくことを、「集団に磨きをかける」と捉えています。体育大会に向けた取組の中で、まさにその姿をたくさん見ることができました。

まず、「本気になってやってみよう」と思えた瞬間です。「団リーダーたちが全力で頑張っているのに、それに応えないのは違う」と感じた3年生がいました。リーダーの真剣な姿が仲間の本気を引き出した好例です。また、団長から「2年生が一番だ」と認められたことを励みに、「白軍が優勝できるよう120%の力を出したい」と話していた2年生もいました。お互いのよさを認め合い、励まし合うことは、本気になれる集団をつくる大切な力です。体育大会当日まで、さらに成長していくことを期待しています。

次に、「なりたい自分」に向けて主体的に行動する姿です。「1年生のお手本になりたい」という思いから、結団式で緊張を乗り越えて感想を発表し、自分の成長を実感した2年生がいました。また、練習で見つかった課題を受け止め、休日に練習計画を立てるだけでなく、リーダー同士で共有する場を自ら設けた3年生もいました。どちらも、なりたい自分に近づくために、自ら一步を踏み出した姿です。それぞれの立場で挑戦する生徒たちの姿に、多くの成長を感じています。

体育大会は大きな学校行事ですが、その成功を支えているのは日々の学校生活です。生活面では、夏休み明けにやや緩みが見られたものの、少しずつ改善されてきました。また、警報発令時の緊急引き取りでは、一人一人が落ち着いて行動することができました。さらに、「提出物をきちんと出せる自分」を目標に、自学やログの提出を継続している1年生がいます。また、体育大会で見つけた自分の課題を、授業での積極的な発言につなげようとしている2年生もいます。行事で得た気付きや成長を日常生活へ生かしていくことこそ、本当の成長だと考えます。

Ⅲ期も残りわずかとなりました。まずは体育大会を成功させ、その成果や課題を次の成長につなげながら、日常生活をさらに充実させていきます。

一人一人の成長が集まって、西中の成長になります。これからも全員で力を合わせ、史上最高の西中を目指していきます。

■■■武並町自治連合会様より、寄付をいただきました■■■

武並町に設置されている「かえるステーション」の資源回収収益金の一部を、恵那西中学校へ寄付していただきました。生徒会活動や部活動の物品購入に活用させていただきます。